

## 県外研修会に参加して

総務委員長 湯谷 主計

平成 17 年度の奈良電業協会県外研修会は、11 月 22 日、23 日に伊勢方面にまいりました。本年度は、シャープ亀山工場を見学するコースです。

当日は JR 奈良駅を出発後、関インターにて昼食を済ませ、シャープ亀山工場に向かいました。



シャープ亀山工場正面



液晶テレビ [AQUOS]

亀山工場は、敷地が東京ドーム 7 個分にあたる約 33 万 $\text{m}^2$ (約 10 万坪)の工場です。同工場は、企画段階から環境アセスメントの考え方を取り入れ、地域や自然との共生をめざした「スーパーグリーンファクトリー」の第一号だそうです。

工場で使用する水をすべて回収し、バイオ技術の活用により 100%リサイクル、又、総使用電力の約 1/3 に相当する 1 万 2000kW を自家発電でまかない、二酸化炭素の排出量を従来より約 40%も削減しているそうです。



工場内見学風景



会議室にて工場説明を受ける

工場内の見学において、マザーガラスの生産工程はブラックボックスのため、一部しか見学できませんでしたが最新鋭の施設を見学でき、驚きと感動を覚えました。

中でも、第6世代と呼ばれる1,500 x 1,800ミリの大型マザーガラスを採用し、液晶パネルから大型液晶テレビまでを一貫生産されているのは、世界で初めてのことです。

又、32V型のテレビで8面、37V型で6面のパネルをとることができるそうです。

2006年10月には、第2工場が完成し、世界最大の2,160 x 2,400ミリという第8世代のマザーガラスが生産開始予定です。

液晶テレビを買うなら、シャープの[AQUOS]が絶対お奨めとして、県外研修会の報告と致します。



正面玄関にて全体写真